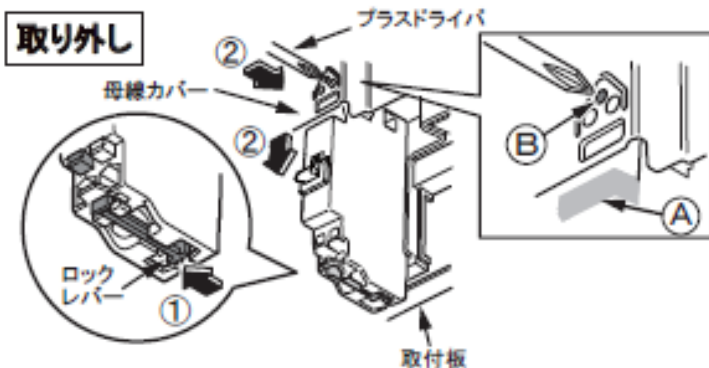


[1]分岐ブレーカの取り外し・取り付け



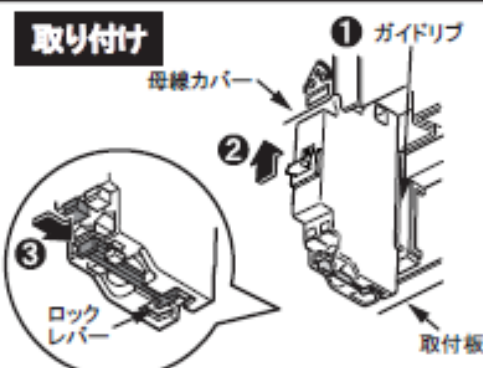
- ①ロックレバーを上げます。
 ②指をA部にかき、ブレーカを引きながら、プラスドライバでB部を押し、ブレーカを取り外す。
 ※プラスドライバは、2番または3番を使用してください。
 ※ブレーカの脱落に注意してください。



注意

必ず主幹ブレーカは切ってください。感電のおそれがあります。
 母線カバーは取り外すことができません。
 無理に取り外そうとすると、感電のおそれがあります。

取り付け



- ①ブレーカをガイドリブの間に置きます。
 ②ブレーカをガイドリブに沿って奥まで差し込みます。
 ③ロックレバーを下ろします。

分岐ブレーカの増設、交換について

※分岐ブレーカの増設、交換の際は、パールテクトブレーカをご使用ください。電源側プラグイン端子の形状が異なるため、パールミニブレーカは取り付けできません。

パールテクト
ブレーカ

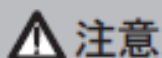
パールミニ
ブレーカ



[2]分岐ブレーカの電圧切り替え [2P2E型(100/200V)のみ]

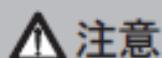
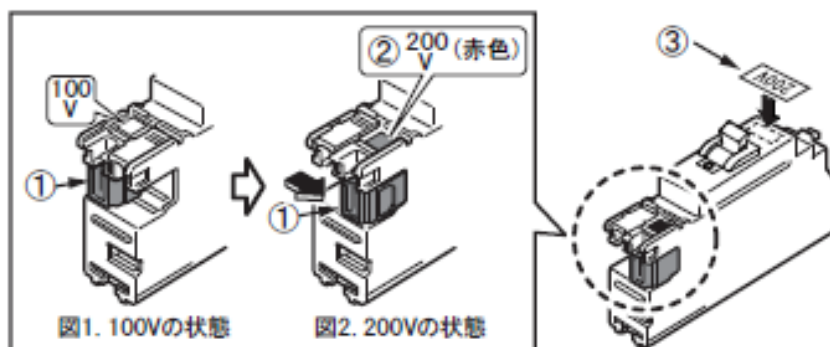
■200V回路への切り替え方法

- 分岐ブレーカ(2P2E)を取り外します。
 (上記、取り外し方法を参照してください)
- 電圧切替端子部①を矢印方向にスライドします。
 必ず端(カチッと音がする)までスライドさせてください。
- 電圧確認表示②が200V(赤色)になっていることを確認します。
 電圧確認表示②が100Vのままの場合は異常です。
 本ブレーカを使用しないでください。
- カバー裏面に貼付している200Vシール③を貼付します。
- 分岐ブレーカ(2P2E)を取り付けます。
 (上記、取り付け方法を参照してください)
- 電線接続前にブレーカの負荷側で電圧を確認してください。



注意

2P2E型(100/200V)のブレーカを使用してください。
 必ず主幹ブレーカを切ってください。
 感電のおそれがあります。



注意

分岐ブレーカを必ず切ってください。
 分岐ブレーカは正しく取り付けてください。
 正しく取り付けしていない場合、短絡のおそれがあります。